

障がい等地域支援ブロック会議報告(平成25年11月～平成26年4月)

資料5

月	参加機関数	参加者数	担当機関名	事例の概要	検討項目	意見	課題
11	18	20	ぷりずむ	知的障害を持つ母親とその子供への支援	母親は、しつけや教育、整理整頓やそうじなどが十分に出来ない。子供にも知的障害あるが、IQは子供の方が高く母親が全てにおいて圧倒されている。 ①母親からの支援を拒否する娘にどのように誰がどのような声かけや働きかけすれば良いか。	・子供にどうして拒否する態度になるのか本人に聞く。 子供自身の相談相手、甘えられる相手はいるのか。 ・年齢特有の反抗期の反応ではないか。母親に受け流す対応なども話してみてもどうか。	
12	14	19	工房ときわ	金銭面で不自由がないため、他者との金銭トラブルを繰り返す統合失調症の方への支援について	就労支援B型事業所を利用しているが、就労意欲なく、利用が週5回→週1回1時間程度になってきた。本当にこの方に必要な支援とは何か。	・本人が何かの役に立つことができれば良いのでは。就労支援B型事業所ではなく、社会貢献などがないだろうか。 ・他者に迷惑がかかっているならばルールをきちっと教えていく必要がある。	
1		200人		第14回 障害支援者交流のつどい			

月	参加機関数	参加者数	担当機関名	事例の概要	検討項目	意見	課題
2	14	16	ぴあ南風	長期間、就労継続支援事業所の利用を休止している状態、再開に至らない統合失調症の事例 (妻も統合失調症、息子も無職で就労に中々つながらない)	事業所通所を再開するのは、どのような働きかけが必要か。また家族への働きかけがあるのであれば、具体的にどのような内容が良いのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族以外の支援があるのであれば、その方を交えて話をしてはどうか。 ・医師からの説明や訪問看護などを増やしてはどうか。 	
3	15	17	くるみ園	世話をしていた母親が高齢になり、障害程度区分5でIQ10のコミュニケーションが取りにくい方への今後の支援について	母親が高齢で体調が思わしくない状況があるが、母親が亡くなった後の支援はどうしていく必要があるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・このままだと姉が母親と本人を見ることになるのではないか。母親が活着ている間に短期入所を利用し、他の施設の利用を検討しては。 ・服薬管理の状況確認、不穏時の薬の処方の相談が必要。 	
4	22	26	障害福祉課	認知症で介護が必要な母親と、その母を十分介護できないが自宅に連れて帰りたい精神障害を持つ息子への支援について	<p>①母の認知症が進行して、母、息子とも必要なサービスを受け入れない状況下で、調整を続けていたが、母が熱中症で入院となった。そうなる前に、母親の支援につながる関わり方は他になかったか。</p> <p>②今後、地域で独居生活をしていく息子への支援に必要なことは何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員や民生委員と他の支援者との関係づくりがさらにできるとよい。 ・本人たちが困っていることから、支援を始めることが基本。関係づくりにつながる。 ・息子へ、就労支援の利用を。 ・将来の課題(例:後見人制度の利用)のピックアップが必要。何かのきっかけがあるときに、その対処と合わせて課題の対処もしていけないと、なかなか動かないケース。 ・一般的な高齢者虐待の対応はどうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の親と、障害者の子が一緒に入所できる施設がないので、一緒に過ごせる施設等環境設定が何らかできないか。